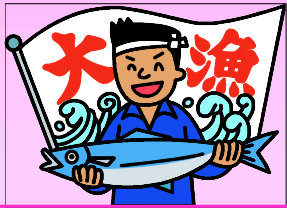


落石地区マリンビジョンニュース

2010.1 vol.8



落石地区マリンビジョン協議会では、様々な人たちと連携してビジョンを実現するために取り組んできました。その取り組み内容を随時お知らせしてきましたが、今回から紙面を一新して「落石地区マリンビジョンニュース」として定期的に発行することにしました。ご感想、ご意見等お寄せ下さい。

発行・編集：落石地区マリンビジョン協議会事務局

「浜の母ちゃん“直伝”根室のおさかな漬け物教室」の試食会が開催されました！



母ちゃん“直伝”の技を学んでいます

根室市と市内4漁協で構成する、根室おさかな普及委員会が主催した「浜の母ちゃん“直伝”根室おさかな漬け物教室」で作った漬物、飯寿しの試食会が12月11日午後6時から根室商工会館で開催されました。教室は市内の落石、根室、歯舞、湾中の4漁協の女性部が講師となって11月25日の漬物料理教室で作った漬物を、12月11日に漬物試食会として開催されました。教室参加者たちは飯寿しを試食し「おいしい。勉強になりました。家庭でも挑戦してみたい」と満足し、魚料理の多さに驚いていました。



参加者からは「美味しい」の声が！



女性部長が落石の伝統料理を紹介

落石漁協女性部のメニューは「コマイの切り漬け」で一般的に作られている伝統料理です。地元で獲れた水産物の素晴らしさに理解を深め、各家庭で魚を食べる機会が増えることが期待されます。まずは地元以外の人達にも知ってもらうことが大事で、根室から全道、全国へと広がっていきえるようになればと思います。

クロゾイ養殖試験

落石漁協では平成19年7月よりクロゾイの養殖試験を実施しています。養殖開始当初は2~3cm程度だったクロゾイが、2年を経過して今では20cm程度の大きさまで無事に成長しました。

7月からは毎週土曜日に地元小中学校全校生徒が漁業体験学習として数名ずつ交代で給餌体験を行っています。クロゾイの成長を見守り続け、大きく成長してくれることを期待しています。



餌やりを体験中の子供たち



こんなに大きく育ちました！

第 5 回ほっかいどう海鮮王国フェスティバルに出展

さっぽろ東急百貨店で 11 月 12 日から 18 日まで第 5 回ほっかいどう海鮮王国フェスティバルが開催され、落石漁協の海鮮工房霧娘が 11 月 14 日と 15 日に出品しました。今年で 5 回目を迎えた人気のイベントで、道内各地の海産物が大集合していました。落石漁協の海鮮工房霧娘のブースでは、たこキムチ、たこやわらか煮、ホッケ開き、イカー一夜干し、さんまみりん干し、コマイ生干しなど、落石で獲れる水産物を使用した霧娘商品を販売し、大勢のお客さんが訪れ好評でした。東急百貨店には様々なお客さんが訪れるので、宣伝効果は高かったと思います。一人でも多くの人に落石の水産物を知ってもらうためにも、今後も頑張っていこうと意気込んでいます。

大勢のお客さんが霧娘商品を買って求めてくれました



「エトピリ館」地域活動の拠点に

平成 21 年 4 月にオープンした多目的施設「エトピリ館」は、地元加工品を発信したり、地域イベントの際に利用されたりと地域活動の拠点に向けて順調に利用されてきました。現在は、地元の水産物を使って加工品を開発・製造する海鮮工房霧娘が週に 5 日ほど「さんま燻製」「たこキムチ」「たこやわらか煮」などオリジナル加工品を生産しているほか、注文に応じて弁当を作っています。利用



エトピリ館 外観

としては、第 1 回落石シーサイドウェイ浜松フットパスウォークの時に霧娘が参加者の昼食を作ったり、子供達の漁業体験学習の料理教室の場所として利用され、エトピリ館の 2 階のスペースでは町内会の会合や、イカ外来船乗組員の休憩所などにも使用されました。

近隣に魚料理の店がないことから、ゆくゆくは霧娘のオリジナル加工品が味わえる店や食堂として活用し、エトピリ館が拠点的な存在になればと期待を込めています。



エトピリ館 中の様子



編集・発行・お問い合わせ先

編集・発行 落石地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ 事務局 担当:根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話:0153-23-6111 FAX:0153-24-8692

